

チーフ・ストラテジスト
建部 和礼

2026年度第1四半期決算プレビュー

不安定な日本株式市場に安定をもたらすことができるか

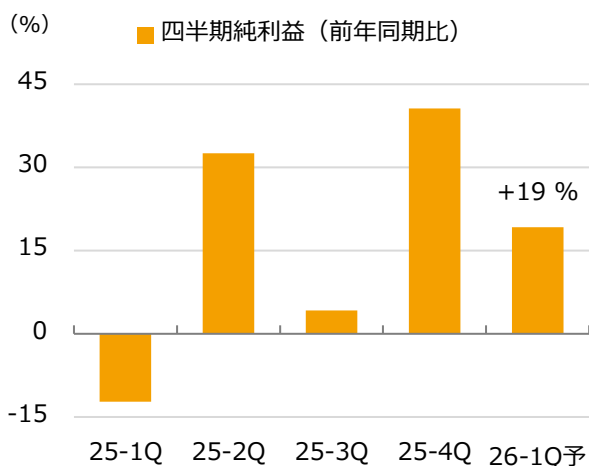
1Q純利益は前年同期比+19%の大幅増益予想

3月期決算企業の2026年度第1四半期（4-6月期、以下1Q）決算発表が本格化します。市場コンセンサスではTOPIX構成企業（3月期決算企業、以下同様）の1Q純利益は前年同期比+19%の大幅増益が予想されています。5月上旬までは10%程度の増益率で推移していましたが、5月中旬以降は上方修正が続いています。上方修正額の大きいキオクシアの寄与が目立ちますが、エネルギーや金融、キオクシア以外のAI関連企業などでも予想純利益が切り上がっています。前年同期比でも、キオクシアやAI関連企業、エネルギー、銀行などの利益成長が大きいですが、トランプ関税により業績が下押しされていた輸送用機器や鉄鋼などでも利益の回復が見込まれています。プラス寄与が大きいキオクシアと、マイナス寄与が大きいソフトバンクグループを除くと、TOPIX構成企業の1Q純利益は前年同期比+15%となります。

AIテーマに対する慎重な見方も一部で台頭していますが、AI関連企業の足元の業績は良好です。イラン紛争勃発後も国内経済は底堅さを維持しており、代替調達も進んでいることから、供給制約による悪影響は大きくは顕在化していません。1Q決算は堅調なものとなると見込んでいます。

足元の日本株はボラティリティの高い展開が続いていますが、その震源地であるAI・半導体関連企業が高い市場期待に応えられるかが注目されます。2025年度通期決算では、中東情勢が悪化する中でも堅調な実績・見通しが示され、日本株の追い風となりました。今決算でも、中東情勢が業績に与える影響が限定的だと示され、今期業績への安心感をもたらすものになることを期待したいと思います。

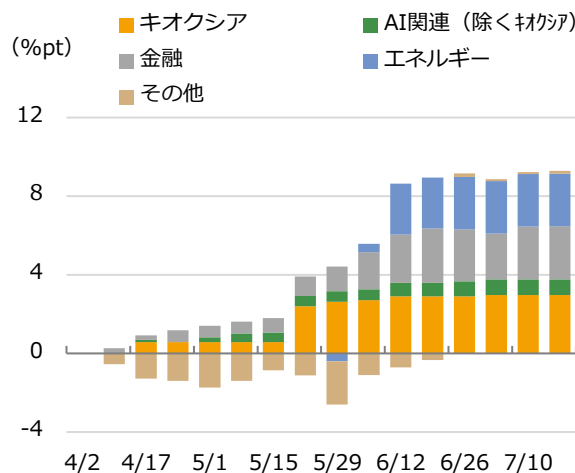
前四半期に続き、1Qは大幅増益予想



※予想はコンセンサス、TOPIXを構成する3月期決算企業、2026年7月17日時点

（出所）ファクトセットより大和アセット作成

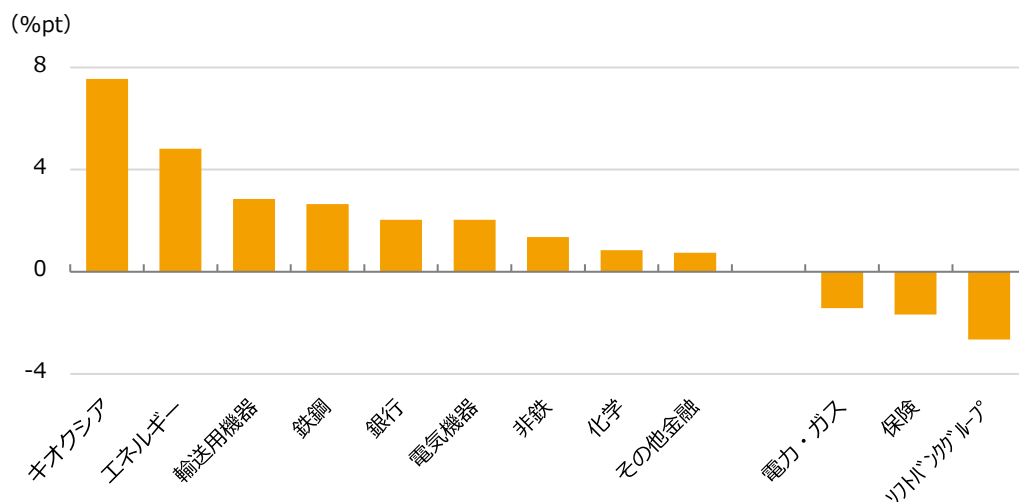
TOPIX・1Q予想純利益の変化率と累積寄与度



※予想はコンセンサス、TOPIXを構成する3月期決算企業、直近値は2026年7月17日

（出所）ファクトセットより大和アセット作成

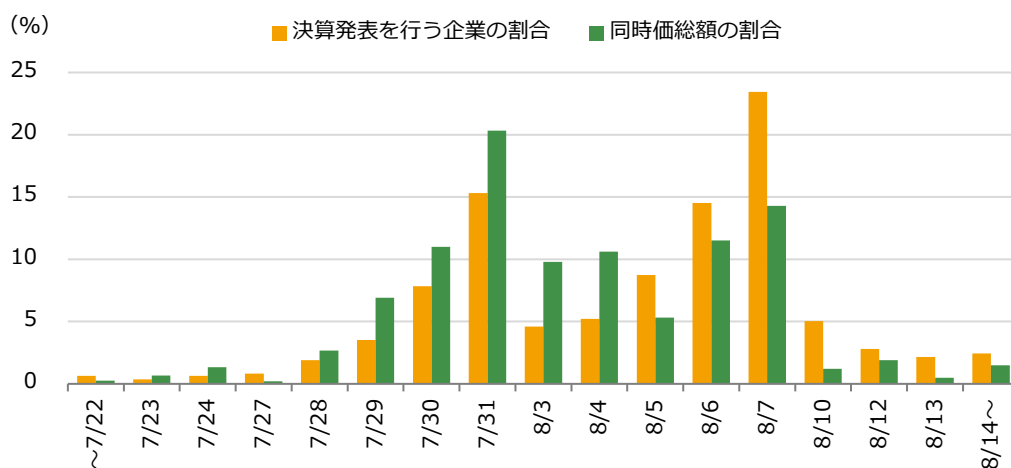
TOPIXの1Q純利益・前年同期比への寄与度



※TOPIXを構成する3月期決算企業、電気機器はキオクシアを除く、2026年7月17日時点

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

2026年度第1四半期・決算カレンダー



※TOPIXを構成する3月期決算企業、2026年7月17日時点

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

最新のレポート掲載ページはこちら

<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/countries/report/index.html>